

令和4年12月1日



第175号



あまぬまだより

http://www.suginami-school.ed.jp/amanuma_es/

杉並区立天沼小学校



仕事と責任

主幹教諭 稲葉 八重子

今年度の学年別体育発表会も、気持ちのよい天気の中無事に終わることができました。各学年、短距離走も表現運動も一生懸命取り組むことができました。練習期間を通して、本番まで、上達していく自分自身に気づいた児童も多くいたと思います。

私は、5・6年生児童が取り組む係活動では、広報係の担当でした。広報係の中で動画と新聞に分かれていて、5年生が取り組んでいました。これまで6年生は、様々な学校行事で、表舞台だけでなく、裏方としても学校を支えてくれています。5年生にとっては、音楽会に続き任された大きな学校行事の仕事です。最初の係活動の時から、担当決めなど進んで引き受け、やる気いっぱいの順調なスタートになりました。

新聞担当の児童は、各学年の先生にインタビューをして記事を編集することになりました。「誰にインタビューするの?」「いつインタビューにいくの?」「何を聞くの?」「グループの中での役割分担はどうなっているの?」係活動の時間が終わる時に尋ねると、まだはっきりと答えられない人、きちんと答えられる人など様々でした。なんとか、グループ毎に今後の仕事を確認して、次の係活動までにやっておく内容をはっきりさせることができました。

ここからは、それぞれの児童が自分で仕事を進めることになります。

①進捗状況の報告

2日に1回ぐらい、締め切り間近には1日に何回も、進み具合を報告に来てくれました。とてもよいと思いました。どうなっているか確認することができましたし、気になる点についてもその都度アドバイスすることができました。

②原稿の起案

できた原稿は、締め切り直前ではなく、余裕をもって確認にきたグループがありました。早めに見せてくれれば、じっくり原稿を確認することができ、修正もスム

ーズにできました。中には、一度ではなく、何度も修正が必要なグループもありましたが、予め決めていた発行日には、どのグループも間に合うことができました。

③完成後の連絡

「無事に終わりました。」

「最後の印刷、ありがとうございました。」

「全部のグループができたので、これからお昼の放送で全校に知らせます。」

何人かが、仕事が終わった後も連絡に来てくれました。うれしそうに話す様子を見て、私もうれしくなりました。

この2週間、係児童の5年生の姿から、自分に与えられた仕事に対する真摯な取り組みと責任感を感じ、素晴らしいと思いました。子どもたちの姿から、改めて仕事を進める時に大切なことを考えることができました。気持ちよく、かつ確実に仕事を進めるためには、とても大切な行動ができていました。児童が自分で気が付いて取り組めたことでもあります。5年担任の上村先生をはじめ、他の先生方の指導があつてできたことでもあります。学校行事で児童を育てるということを改めて感じました。

仕事や役割を進んでやりたいという児童がいます。どちらかというと自分からは手を挙げない児童もいます。しかし、高学年になると、やりたいとかやりたくないとかではなく、必ず仕事を引き受ける場面に直面します。その時には、責任をもって取り組んでほしいです。仕事の中に自分なりの楽しみも見つけてほしいです。そして、できた自分、頑張った自分を自分で評価してほしいと思います。自分で自分を褒め認めることが苦手な人もいるかもしれませんが、何か一つのことが終わったら、反省することも大事ではありますが、無事に終えられたことをまず喜んで、自分で自分に「頑張った!」と言ってほしいです。

** 今月の目標 **

生活

学校をきれいにしましょう
～2学期の反省をしましょう～

保健

かぜやインフルエンザを
予防しましょう

給食

バランスよく食べましょう

12月の行事予定



日	曜	行事予定
1	木	安全指導 HS 狂言鑑賞教室56
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	午前授業 保護者会456
6	火	フォ
7	水	委員会活動
8	木	午前授業 保護者会123こ
9	金	
10	土	土曜3時間授業 セーフティー教室235
11	日	
12	月	低フォ
13	火	書初め6 フォ
14	水	書初め5
15	木	書初め34 HS
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	5時間授業
20	火	たてわり班⑧ フォ
21	水	読み聞かせ12こ(チャ)
22	木	5時間授業 給食終
23	金	特時 終業式大掃除
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	
28	水	
29	木	冬季休業 12月26日(月)から1月7日(土)
30	金	始業式 1月10日(火)特別時程・給食無 下校 12:15頃
31	土	

【保護者会】

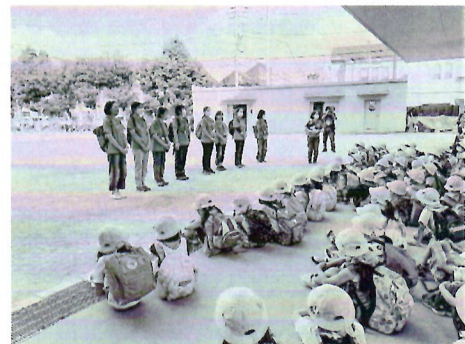
1・2・3年こだま学級
：12月8日(木)14:00～
4・5・6年
：12月5日(月)14:00～
場所：各教室

学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

～校外学習の引率支援～

学校支援本部では、生活科見学や社会科見学、校外学習の引率支援を行っています。原っぱ公園秋探しや町たんけん、AKP、わたしたちの天沼など1年生から6年生まで、先生方と子どもたちが安全に活動を行えるように、サポーターが支援しています。特に1、2年生の引率では、子どもたちの目印になるように、ピンク色のあまぬまTシャツを着用しています。最近は卒業生がサポーターとしてお手伝いに来てくれるようになりました。



12月の朝遊びカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

学校運営協議会コーナー

一保護者・一区民・一企業人として主体的に学校運営に関わるということ

はじめまして、私はこの4月から天沼小の学校運営協議会委員を拝命して活動をしている吉田と申します。委員になったきっかけは、杉並区報の公募を見て応募したこと。応募した理由は二つあります。一つは、一保護者として、自身の子どもが通う天沼小学校に貢献したかったから。もう一つは一区民として杉並区に貢献したかったから。一企業人として、ビジネスで培った経験・スキルを活かして、微力ながら、学校・地域の課題解決にチャレンジしています。

協議会の活動は多岐にわたりますが、自身は研修交流分科会の一員として、8月に実施したサマワークショップの企画運営を担当しました。今年は「子どもたちの心の教育について考えよう ～『道徳教育』の今を知る～」をテーマに、保護者と教職員、地域関

学校運営協議会委員 吉田 真也

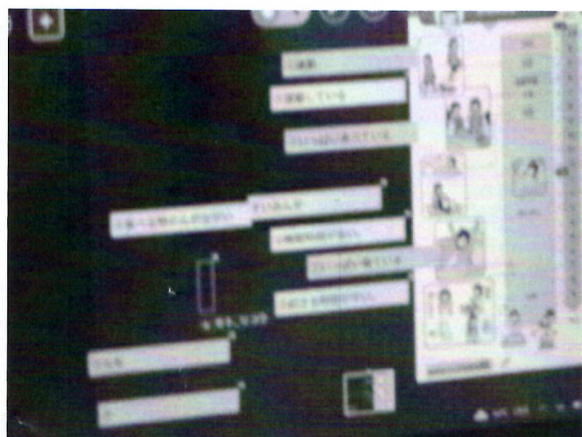
係者に50名ほど参加いただきました。非常に密度の濃い意見交換がなされ、2時間で議論し切れなかったことが、運営していた立場で悔やまれます。こういう機会をもっと作ることで、それぞれの立場での日々の取組や課題をお互いが理解し、よりよい取組が生まれるきっかけを作ることができればと考えています。

子どもたちは未来であり、希望です。その子どもたちの教育を学校任せにせず、関わる人それぞれが学校や教育の課題を自分ごと化し、何かできることはないかを問い続け、実践し続けることが、天沼小の子どもたちの未来につながると信じています。ぜひ、一緒に考えていきましょう。

共有ノートを活用した今年度の研究授業

3年生の保健の学習で「毎日の生活と健康」という単元があります。「毎日を健康に過ごすために、どんな生活を送ればよいのかを学習し、健康によい生活のしかたを身に付けられるようにする。」という目標で、1組と3組で研究授業を行いました。ロイロノートで事前に先生のアンケートを取りどんな傾向があるのか学級で共有しました。また、課題を捉えたり、共有ノートを使い、考えを整理したりしました。生活スタイルの違う

2人の児童の1日の過ごし方を見比べ、共有ノートを活用して、元気な理由をそれぞれ見つけていました。「早起きをしている」、「運動をしている」など見つけたことを書き込み、お互いの意見を交流しながら、グループの意見をまとめました。共有ノートを活用し、友達の考えが画面上にあることで、その意味を考えたり確認したり、自らを深めたりすることができました。



ICT推進 今年度のICT活用

昨年度に引き続き、今年度も本校ではタブレット端末等のICT機器を活用した学習を進めています。その中で大切にしていることは、子どもたちに「選択させる」ということです。子どもたちがどれだけタブレットを上手に使っていたとしても、それが教師の指示によって「使わされている」という域を出ないのならば、それは本当に

「活用している」とは言えないのではないのでしょうか。例えば4年生の社会科で「東京都の文化財について調べよう」という学習では、タブレットを使って都内の文化財について調べました。調べるのは全員タブレットを使いますが、その後に調べたことをまとめる際には模造紙とタブレットを選択させました。



模造紙に「文化財マップ」としてまとめると、壁に貼っていつでも見ることができるというメリットがあります。それに対してタブレットで「文化財アーカイブ」を作ると、画面上の写真に触ると文化財の写真や詳しい説明がポップアップして分かりやすく読むことができるというメリットが

あります。しかもロイロノートの「共有ノート」という機能を使うと、一つのシートに対してグループ全員が同時に編集することもできて非常に便利です。紙やICTの特性をそれぞれ理解して、子どもたちが主体的に選択をして学習に取り組むことを目指していきたいと思います。

4年生は、短距離走と用具を使った表現運動「Gボールで新時代」に取り組みました。短距離走では、曲線をどのように工夫して走るか考えて、最後まで一生懸命疾走しました。表現運動は、当初大きなボールの扱いに戸惑い、その場に留まっていることも難しい状態でした。しかし練習を重ねるごとに、ボールの上でバランスをとったり、ボールに加える力を調整したりできるようになっていきました。ボール操作に悪戦苦闘しながらも、声を掛け合いリズムに合わせて課題に挑戦する姿を、これからの学習に生かしてほしいです。



4

3年生は表現運動SPY×FRIENDSと短距離走を行いました。

表現運動SPY×FRIENDSでは、実行委員の8人が音楽会の前からテーマやストーリー、曲選びについて話し合ってきました。そして、テーマやストーリーに合った動きを子どもたち一人一人が考え、練習を重ねました。短距離走では、最後まで全力を出して走り切ることを目標に練習しました。

子どもたちが全力を出し切り、笑顔溢れる体育発表会になり、また一回り成長を感じることができました。



3

6色のにじ天沼バフでひからせろ

体育発表会特集

小学校生活最後の体育発表会。短距離走では悔いがないように全力で最後まで走り切りました。走り終わった児童の顔からは、緊張に打ち勝ち、走り切った達成感が感じられました。表現「天沼伝History」ではこれまで取り組んできた表現の総まとめから「よさこい」「組体操」と盛りだくさんの内容で見ていただきました。これまで自分たちが歩んできた歴史に新たなチャレンジを加え、6年間の集大成として新しい「天沼伝」を披露できたと思います。



6

5



5年生は、短距離走と表現「天沼ソーラン2022」に取り組みしました。短距離走では、トラックのカーブやストレートの上手な走り方を目指して取り組んできました。本番では、高学年らしいダイナミックな走りを披露できたと思います。表現では、腰を深く落とした踊りを目指して練習してきました。5年生になったら、「カッコいいソーラン節を踊る」という新たな歴史をつくることができました。また、高学年として係活動に取り組み、体育発表会の運営に直接携わりました。体育発表会で得たことを、これからの様々な活動に生かしていくことを期待しています。

2



2年生は「残響散歌」の音楽に合わせて『旗の呼吸2の型・絆切り』を披露しました。フラッグ運動に挑戦した今年は、カッコよく踊ることを意識して練習に取り組みしました。旗を扱う難しさを感じながらも練習を重ねるごとに技のクオリティや体育発表会を成功させようという気持ちが高まっていることが感じられました。「一生懸命な姿を見ることができた。」「練習の成果が出せて嬉しかった。」と振り返りが多く見られました。

「まっすぐ、まっすぐ」短距離走は、「自分のコースをまっすぐ、力強く走り抜けること」を目標に、力いっぱい頑張りました。

「スマイル135」クラスカラーのカラー手袋をつけて、「可愛く」「かっこよく」踊りました。

まっすぐきれいに並ぶこと、踊りのタイミングを合わせること、隊形を移動することなど、覚えることが多く大変でしたが、とびっきりの笑顔で手を振り、観てくださった皆さんに元気を届けられるように頑張りました。



1